

災害と女性

世界の流れ・日本の流れ

第4回防災グローバル・プラットフォーム
(2013年5月19日～23日ジュネーブ)からの報告
第3回国連防災世界会議(2015年3月仙台)へ

6月8日(土) 18:00～20:45 (開場 17:45)

城西国際大学東京紀尾井町キャンパス1号館301教室(定員120名)

災害リスク削減(DRR)をめぐる国際的動向

古田 尚也 IUCN(国際自然保護連合)日本プロジェクトオフィス

ジェンダー視点を踏まえた DRR の展開

堂本 暁子 男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表

第3回国連防災世界会議に向けて仙台市の取り組み

寺内 譲 仙台市企画局国連防災世界会議準備担当局長

岩手県、宮城県、福島県からの提言

田端八重子 もりおか女性センターセンター長

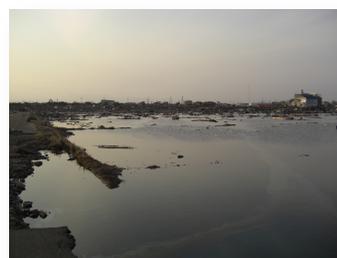
木須八重子 せんだい男女共同参画財団理事長

小倉久美子 NPO法人ウィメンズスペースふくしま副代表

資料代:1,000円

申込方法:氏名、連絡先を明記して、FAXまたはメールにて
お申し込み下さい

FAX:043-239-7501 /メール:saigai.gender@gmail.com



趣旨

「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」は、東日本大震災がおきてから3ヶ月目の6月11日に「災害・復興と男女共同参画」6.11シンポジウムを開き、男女共同参画の視点から声を上げ、以来政府に対して政策を提言し法制化を要望して来ました。2012年には2回目の「災害・復興2012」シンポジウムを6月23日に開き、災害から1年の現状について岩手、宮城、福島3県の女性たちに報告をしていただきました。



今年、2015年春に日本で開かれる第3回国連防災世界会議に向けて国際的なジェンダー主流化の動向に照準を合わせ、兵庫行動枠組の目標である災害リスク削減（DRR）との関係を探ります。5月19日からジュネーブで開かれる第4回防災グローバル・プラットフォーム会合はこれらのテーマについて議論する予定です。古田尚也さんと堂本暁子が参加します。また奥山仙台市長もこの会議に招かれておられるとのこと。

第3回国連防災世界会議は、兵庫行動枠組に続き、2015年から2025年までの防災・災害・復興に関する国際的な行動目標を設定する大事な会議です。私達は東日本大震災の経験を踏まえ、男女共同参画の視点、女性の参画が明確に打ち出されることを目指して活動していきます。

会場案内

城西国際大学 東京紀尾井町キャンパス 1号館 301教室

◆住所

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

HP <http://www.josai.jp/access/index.html>

◆交通アクセス

- ・地下鉄有楽町線麴町（こうじまち）駅
1番出口徒歩約3分
- ・地下鉄半蔵門線・南北線永田町（ながたちょう）駅
9番出口徒歩約5分
- ・地下鉄丸の内線・銀座線赤坂見附（あかさかみつけ）駅
D出口徒歩約約8分
- ・JR中央線・総武線四ツ谷（よつや）駅
徒歩約10分

